

普及活動情勢報告（令和6年11月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

働きやすい職場環境は現場での改善から ～枝川集出荷場のGAP点検～



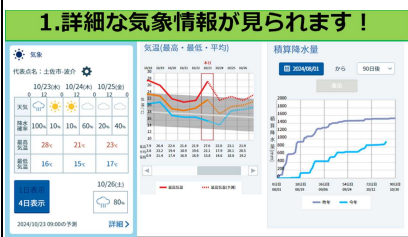
10月22日、枝川集出荷場のGAP点検を関係者5人で実施しました。

農業改良普及課は、前回の反省点が改善されているかを確認するとともに、新たな課題をJA職員と共有し、対策を話し合いました。

出荷場職員より、「梱包資材の種類が多いので、分かりやすいよう分類した」との話もあり、自発的な改善活動が定着しつつある様子でした。

今後も、関係者とともに2ヶ月に1度点検を実施し、事故がなく働きやすい出荷場となるよう働きかけます。

露地でもSAWACHIを活用しよう！ ～土佐市青ネギ部会総会～



10月25日、土佐市青ネギ部会の総会が開催され、生産者8名の参加がありました。

農業改良普及課では、今年度行ったネダニに対するグレイシア乳剤の防除試験の結果を報告するとともに、SAWACHIの推進を行いました。

生産者からは、「詳細に積算降水量が分かるなら小夏の防除に役に立ちそう」、「SAWACHI ニュースが気になる」等の意見が聞かれたほか、1名の生産者から登録申請もありました。

今後も、露地品目へSAWACHIを推進するとともに、青ネギ部会の活動支援を行います。

イタドリピクルス販売を目指して ～いの町「明るい柳野を創る会」加工班の取組～



10月28日、いの町柳野加工所で「明るい柳野を創る会」加工班4名と関係機関3名がイタドリピクルス加工試作と販売の打合せを行いました。

農業改良普及課は、イタドリピクルスのレシピ変更と原価計算方法を説明し、今後の販売方法について意見しました。

参加者からは、「加工品が予定数できてよかった」「販売先でポップを掲示したい」「食べ方提案もしていきたい」等前向きな意見が出されました。

加工試作を繰り返したことで販売意欲につながり、販売方法を検討するきっかけとなりました。

農業改良普及課は今後も関係機関と連携して、加工班が積極的に販売していくよう支援します。